

令和元年第26回定例公安委員会会議録

開催日時 令和元年8月29日(木) 午前11時15分～午後3時

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時35分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員

警察本部 津田警察本部長 伊貝警務部長 谷村首席監察官
長谷高生活安全部長 松岡刑事部長 柳清交通部長
牧田警備部長 竹森警察学校長 妹尾情報通信部長
樋口警務部参事官

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官、中田補佐)

3 議題事項

警察署協議会委員の委嘱(警務部)

警察本部

米子警察署協議会委員1名が辞職されたことに伴い、新たに委員を委嘱する。
委員の候補者として、米子警察署長より、居住地域、識見等を勘案し、上申があった。新委員の任期については、鳥取県警察署協議会条例により、前任者の残任期間とする旨が規定されていることから、前任者の残任期間である、令和3年5月31日までとなる。

委員

事前に説明を受けており、適任と認める。

4 報告事項

- 鳥取大学における講義の実施結果等（警務部）
- 9月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）
- 令和元年秋の全国交通安全運動の実施（交通部）
- チャイルドシート使用状況調査結果（交通部）
- 令和元年度鳥取県国民保護実動訓練への参加（警備部）
- 9月中の入校及び行事概況等（警察学校）
- 警察署等に設置した警察電話交換機等電源部の更新（情報通信部）

（1）鳥取大学における講義の実施結果等（警務部）

警察本部

「地域を担う人材を育成すること」、「警察業務に対する理解を深めてもらうこと」、「優秀な警察官の採用につなげること」などを目的として、平成28年度から鳥取大学において開講している「社会安全政策論」について、本年度の全講義が終了したことから、受講学生に対してアンケート調査を実施した。

講義は、鳥取大学教授及び様々な危機管理経験を有する警察本部各所属長等が担当し、1、2年の学生を中心として14人が受講した。

アンケートの結果、情報量については83.2パーセントが「適切だった」を選択、授業のレベルについては、88.8パーセントが「ちょうど良いレベルだった」を選択するなど、一定の高評価を得ている実態が確認できた。また、特筆すべきものとしては、受講前は警察官の職種に全く興味がなかったと回答した学生のうち、講義を受けたことで警察官の仕事に興味を持つようになったと回答した学生の割合が77.8パーセントという結果となり、今後の優秀な警察官の人材確保に繋がる一定の効果が期待できる結果となった。令和2年度も本講義を継続するため、今後、鳥取大学担当教授と講義実施時期、内容等について調整していく予定である。そのほか、本年度の後期日程において開講される「鳥取を知る」の講義において、県警察による「鳥取の治安を守る」と題した講義を開催予定である。

委員

来年度も学生に興味を持ってもらえるような講義を行っていただきたい。本年度よりも受講生が増えれば、さらに良いと思う。

委員

一般的に、大学生は警察との接点が少ないと思う。人材確保に限らず、少しでも警察の活動を理解したり、興味を持ってもらえるきっかけとなり、良かったと思う。

(2) 9月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

本年9月の補正予算案について、警察関係では、県民からの110番通報に対して迅速・的確な初動警察活動を行い、事件・事故による被害拡大の防止や犯人逮捕等に資する通信指令システムと、大規模災害・重大突発事案の発生時等に拠点となる総合指揮室において、迅速な情報収集と的確な対応を図るための総合指揮システムが令和3年2月末でリース満了になることに伴う更新に当たり、令和元年度中に契約を締結する必要があることから、7億3,878万円の債務負担行為を設定する。

委員

厳しい財政状況だとは思いますが、新たに検討しているシステムは、より一層、警察活動において重要な役割を果たすシステムだと思う。

(3) 令和元年秋の全国交通安全運動の実施（交通部）

警察本部

本年9月21日から同月30日までの間、令和元年秋の全国交通安全運動が実施される。運動重点は、子どもと高齢者の安全な通行の確保、高齢運転者の交通事故防止、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底及び飲酒運転の根絶である。また、交通安全日として、9月25日を「交通マナーアップ強化日及び思いやり運転推進」、9月30日を「交通事故死ゼロを目指す日」に設定している。

期間中は、各警察署において、交通安全パレードや広報等の行事を予定している。そのほか、高齢者訪問活動として、関係機関と共に高齢者宅を訪問し、反射材用品の着用を呼び掛けるとともに高齢運転者に対し交通事故防止を呼び掛けたり、飲酒運転根絶広報や街頭広報検問を実施する。

委員

滋賀県大津市で発生した交通死亡事故等、社会的に反響の大きい交通事故が発生しており、全体的に交通安全に対する意識が高まっていると思う。交通安全については、地道な呼び掛けなど、粘り強く対応していく必要があると思う。

委員

地域の事情に合わせた日頃の広報が大切だと思う。引き続き、交通事故抑止対策をお願いする。

(4) チャイルドシート使用状況調査結果（交通部）

警察本部

本年6月1日から同月16日までの間、全国で、警察と一般社団法人日本自動車連盟（JAF）合同によるチャイルドシート使用状況調査が実施された。この調査は、平成14年から全国一斉に行われており、チャイルドシートの使用率及び取付け・着座状況を調査し、結果を公表することにより、一層の使用率向上及び適正な使用を啓発することを目的としている。

県内では、6月1日にイオンモール鳥取北店、6月8日にイオンモール日吉津店において、警察官とJAF職員が聞き取り調査を実施した。調査の結果、本県のチャイルドシートの使用率は全国平均の70.5パーセントを上回る77.1パーセントであり、昨年より8.4ポイント増加した。全国順位は12位であった。未使用の状況で最も多かったのは、車両シートにそのまま着座した状況であった。引き続き、広報啓発活動等を実施し、更なる使用率向上に向けて取り組んでいく。

委員

保護者にチャイルドシート未使用時の危険性を知ってもらい、重要性を認識してもらうことが必要だと思う。これまでも、保育園等において保護者を対象とした広報を行っているが、そのような広報は効果的だと思う。引き続き、広報啓発活動を行っていただきたい。

(5) 令和元年度鳥取県国民保護実動訓練への参加（警備部）

警察本部

本年9月4日午後1時から、コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園）において、鳥取県主催の鳥取県国民保護実動訓練が実施され、県警察も参加する。

この訓練は、本県が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ予定地となっていることなどを念頭に置き、国際的なスポーツ競技大会を狙ったNBCテロ事案及び爆発物使用事案を想定し、テロ発生時における関係機関の連携要領を確認することにより、事態対処能力の向上を図ることを目的としている。

警察は、テロ発生時における避難誘導、警戒区域の設定、交通規制等の初動措置、原因物質の検知・除去、除染及び負傷者の救出救助や爆発物処理等の実動訓練を実施する。訓練の状況は、機動警察通信隊において、警察本部に映像伝送を行う。

警察としては、本訓練を通じて関係機関との連携を強化するとともに、各部隊の練度を向上させ、事態対処能力の向上を図る。

委員

いざという時のためにも日頃の訓練は大切である。訓練結果を今後の活動に反映させていただきたい。

(6) 9月中の入校及び行事概況等（警察学校）

警察本部

9月中の入校関係は、現在入校中の初任科第89期、第90期に対する採用時教養を引き続き行うほか、2専科が入校する。本年4月に入校した初任科第89期は、9月30日に卒業式を迎え、警察署に配属される。

9月中の行事は、9月13日に職場見学会を予定している。これは、初任科生の家族に対して日頃の訓練成果を披露するとともに、警察業務への理解を深めてもらうことを目的としている。また、本年はリクルート活動の一環として、初任科生の同級生や後輩等の見学も受け付けている。

8月中は、国体成年女子ハンドボール中国予選会及び国体成年女子剣道中国予選会に初任科生が出場した。また、鳥取県警察柔道・剣道・逮捕術大会に、多くの初任科生が出場した。そのほか、救急法検定やアナウンサーを講師に招いた職務倫理教養等を実施した。

委員

術科大会では、初任科生がとても活躍していた。まもなく卒業だが、学生の様子はどうか。

警察本部

警察官としての自覚も芽生え、入校時とは見違えるほど成長している。

委員

昨年も職場見学会を開催されていたが、毎回、工夫を凝らして行っていると思う。このような機会は、保護者も子どもの様子が分かり安心するし、警察を身近に感じる良い機会である。

(7) 警察署等に設置した警察電話交換機等電源部の更新（情報通信部）

警察本部

停電対策強化のため、警察署等に設置している警察電話交換機及び基幹IP網システムの電源部を更新する。更新作業中は、一時的に影響が出るが、諸般の対応を行い、加入電話及び警察電話を確保する。作業は、本年9月から順次行って

いく。

委員

災害等はいつ発生するか分からない。警察の信頼向上につながるものだと思うので、対応をよろしく願います。

5 その他

- 警察音楽隊プロムナード・コンサートWith 鳥取東高書道部2019の開催（警務部）
- 似顔絵作成講習会及び第41回似顔絵作成コンクールの開催（刑事部）
- 交通死亡事故の発生（交通部）

（1）警察音楽隊プロムナード・コンサートWith 鳥取東高書道部2019の開催（警務部）

警察本部

本年9月7日午前11時から、とりぎん文化会館フリースペースにおいて、鳥取県警察音楽隊が広報活動の一環として行っているプロムナード・コンサートにおいて、鳥取東高校書道部の協力を得て、音楽隊の生演奏に合わせた書道パフォーマンスを行う。昨年に引き続き3回目となり、今回は、交通安全に向けたメッセージを書き上げる予定としている。

（2）似顔絵作成講習会及び第41回似顔絵作成コンクールの開催（刑事部）

警察本部

本年9月10日、警察本部において似顔絵作成講習会及び第41回似顔絵作成コンクールを開催する。コンクールでは、強盗事件を想定し、目撃者役から犯人像を聴き取り似顔絵を作成し、上位3人を表彰する。

委員

昨年、似顔絵作成コンクールを視察したが、特徴をよく捉えて作成していた。捜査には必要な技術だと思うので、技能向上を図っていただきたい。

（3）交通死亡事故の発生（交通部）

警察本部

8月25日に鳥取警察署管内、8月26日に米子警察署及び黒坂警察署管内において、交通死亡事故がそれぞれ1件ずつ発生した。1週間に3件の交通死亡事

故が発生したことを受け、8月26日から9月4日までの間、交通死亡事故多発警報（令和元年第3号・全県警報）が発令され、交通死亡事故抑止に向け緊急対策を実施中である。

委員

連続して交通死亡事故が発生しているので、地道な活動になるが、引き続き、広報啓発活動をお願いします。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取り量定を決定した。

2 事前説明

- ・ 9月補正予算案（警察関係）の概要
- ・ 令和元年度鳥取県国民保護実動訓練への参加

3 報告事項

監察報告

4 決裁

火薬類取扱場所等に対する立入検査実施規程の一部を改正する規程

5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。